

# 令和2年度東部地区進路指導・キャリア教育研究協議会

## 1 目的

望ましい進路指導・キャリア教育の充実を図るため、埼玉県進路指導改善検討委員会の報告書を踏まえ、中学校・義務教育学校（後期課程）と高等学校との連携を密にし、円滑な接続を目指すとともに進路指導・キャリア教育上の諸課題の解決に資する。

2 期日・会場 令和2年10月13日（火） 県立羽生実業高等学校

3 参加対象校

- ・東部教育事務所管内公立中学校、義務教育学校（後期課程） 94校
- ・管内市町に所在する県公立高等学校 39校

## 4 主な内容

(1) 授業参観・施設見学

(2) 全体会

- ・ 情報提供1 県立学校部高校教育指導課から  
「埼玉県産業教育フェア等について」
- ・ 情報提供2 総務部学事課から  
「私立高等学校等における学費軽減の補助等について」
- ・ 情報提供3 市町村支援部義務教育指導課から  
「キャリアパスポート及び中学校等から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導の現状と課題等について」

(3) 分科会（グループ協議）

「中学校等から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導・キャリア教育の現状と課題等について」

## 5 参加者の感想から

### (1) 授業参観・施設見学について

#### 【成果】高等学校

- 他の高等学校、特に専門学科のある高等学校の授業を見る機会はあまりなかったので、今後の自分の教員人生を含め、参考になった。
- 施設の充実さには目を見張るものがあった。
- 生徒があいさつを気持ちよくしてくれた。専門学科でもいろいろな学科コースがあり、授業見学は有意義であった。
- 農業施設を見学させていただき、大変参考になりました。ドローンを利用した農業も考えているということで最先端を取り入れていることは素晴らしいと思った。
- 農業・商業科の学校を見学でき、大変有意義であった。落ち着いた学校であり、今後可能性のある学校として学べた。

#### 【成果】中学校等

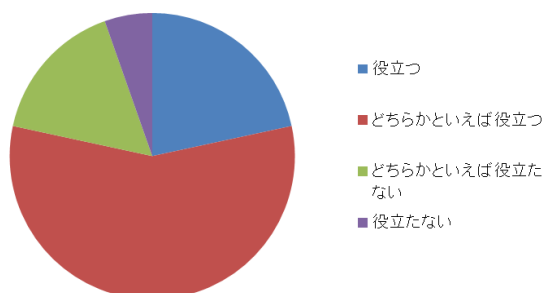
- 教員生活が長いですが、以前はこのような見学がほとんどなかったため、よかった。生徒へのアドバイスの一助となった。
- 様々な施設があり、魅力的な学校だと思いました。生徒が高等学校進学後、この施設で実習することを想像すると、中学校での基礎基本の徹底が必要不可欠だと思った。
- 生徒達には、学校説明会など必ず参加するように指導しているが、どのような視点で参加すればよいかを指導していきたいと感じた。
- 中学校の授業にはない簿記や会計の授業を見学させていただいた。私自身も普通科の高等学校を卒業しているので、初めて見る授業だった。とても参考になった。
- 実習施設を見学し、高価な設備の中で、学んでいることがわかった。とても恵まれていると感じた。子供たちにも専門学科のよさを伝えていきたい。

#### 【課題】

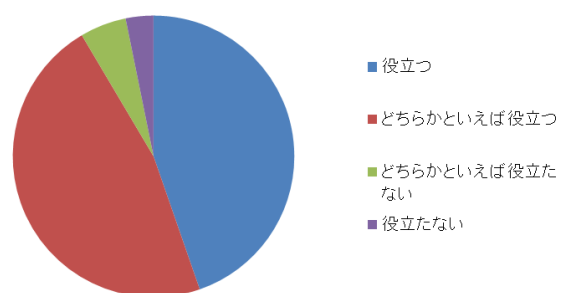
- 実際に生徒と一緒に授業を体験したかった。
- 時間が短く、授業参観と施設見学の両方ができなかった。できれば、授業参観も施設見学も両方したかった。
- 進路状況や卒業生がどのような場で活躍し、どのようにキャリアアップしていくのかなどについて知りたいと感じた。

### (2) 全体会（情報提供）について

【高等学校】全体会の情報提供



【中学校等】全体会の情報提供



### 【成果】高等学校

- キャリア・パスポートについて、知ることができたよかった。
- 私立からの転学相談が多く、学費軽減の補助についての資料が参考になった。
- どの説明も丁寧で分かりやすかった。学費軽減の補助等について、さらに詳しく知りたいと感じた。



### 【成果】中学校等

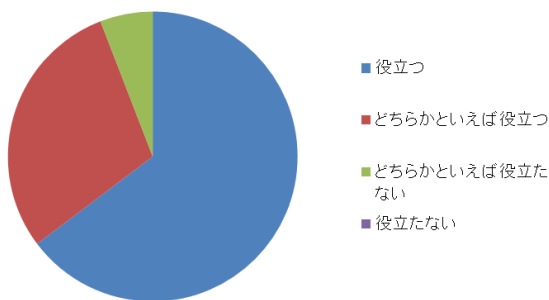
- 情報提供は参考になり、学校で情報を共有したいと感じた。
- 私立高校の助成金についての説明があり、保護者へ説明するときの参考となった。
- 県から発信される情報が、学校によって理解が異なっていたので、共通理解、再認識できる良い機会だった。
- キャリア・パスポートに関する説明を聞くことができてよかった。改めて小・中・高が連携してキャリア教育を進めていくことの大切さを実感した。
- 今後の進路指導・キャリア教育に役立つ、重要な内容を説明していただいた。
- キャリア教育に関する情報提供をいただき、進路担当はもちろん、担任がより深く理解し、進めていくことが大切だと感じた。

### 【課題】

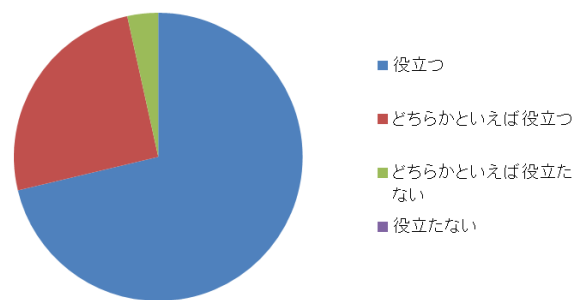
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で例年と変わっている部分が多いので、そのことについてもっと知りたかった。
- 情報提供の内容は、中学校向けの内容が多く、高等学校向けの内容が少なかった。
- 情報提供では、専門学科のある高等学校についての説明を中学校の先生方に聞いていただくことも必要ではないかと感じた。

### (3) 分科会（グループ協議）について

【高等学校】分科会の研究協議



【中学校等】分科会の研究協議



### 【成果】高等学校

- 中学校の先生方と情報交換ができる機会は大変ありがたい。情報提供や研究協議の時間がもう少し長くしてほしい。今後も専門高校で実施していただきたい。
- 例年、中学校の先生と直接お話ができる貴重な機会と考えている。今後もこの協議会を継続していただきたい。
- 中学校の進路指導について知ることができた。高等学校の情報をどこで入手するか、また、第1希望を決定する時期など色々伺うことができた。

- 中学校を含む他の学校との情報交換ができ、同じような悩みを共有でき、大変有意義だった。
- 各中学校の様子や指導の在り方を聞くことができ、大変貴重な時間だった。また、コロナ禍でどのような形で中高が連携できるかを検討することができた。

### 【成果】中学校等

- 各中学校・義務教育学校、高等学校の現状や課題を共有することができ、大変有意義な時間だった。中高連携として「オンラインでの出前授業」など新たな取組を検討していきたい。
- 特に、中高の協議は、今後の指導に役立つことが多く、今後も様々な面での情報交換ができる場があるとよい。
- 高等学校の先生との情報交換をすることができ、とても貴重な意見をいただくことができた。中学校としては、生徒がしっかり目的意識をもって進路を決定することができるような指導をしていく必要があると感じた。
- 他の学校の取組等を知ることができたのでよかった。今後も校内、他校と連携していきたい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により情報収集が困難な昨今、生徒が必要な情報を中学校と高等学校の両面からサポートしていく必要があると感じた。
- 中学校の先生方からは各中学校の進路関係の仕事、キャリアパスポートの扱いについて、高等学校の先生方からは調査書の記述、取扱い等の情報を得られ、有意義だった。
- 本年度初めて進路指導担当になり、不安なことや心配なことがあり、今回の意見交換で多くの情報が得られたので、今後に活かしていきたい。
- コロナ禍において、どの学校も不安に感じていることが同じで、少し安心した。ZOOMを用いた三者面談など、各学校で工夫して三者面談を行っていて参考になった。



### 【課題】

- 分科会では高等学校の先生の貴重な話を聞くことができ、設定された時間では短く残念だった。選抜方法等について、もう少し話が聞きたかった。

## (4) その他

- 高等学校で就職に対する指導や進学に対する指導が具体的にどのように行われているのかも知りたかった。
- 専門学科のある高等学校における求人や就職先等の情報、高等学校ではどのような進路指導等を行っているかということについて、もっと知りたいと思った。
- 専門学科のある他の高等学校にも行ってみたいと感じた。
- 専門学科を有する高等学校を会場にしているので、専門学科の特性等について、資料等を使って説明していただくような時間があってもよいのではないかと。